

■課題のまとめ（水害・土砂災害）

【共通課題】
④最大規模の降雨発生時に浸水深2 m未満の床上浸水家屋が増加
→④⑤水位に応じた避難活動が求められる。
④計画規模の降雨発生時に、床上浸水家屋や要配慮者利用施設が点在
→④⑤早く適切な避難情報の提供、避難対応が求められる。
→⑤資産を保護する自助公助の対応が求められる。
④柳瀬川流域に土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域が点在
→⑤土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）は、居住誘導区域から除外
→⑤土砂災害警戒区域のみ（イエローゾーン）では、土砂災害警戒情報や大雨警報の情報の発信、命を守る対応が求められる
④柳瀬川沿いに大規模盛土造成区域が点在
→④⑤被災前の避難活動が求められる。

【三ヶ島地区】
④内水による浸水被害履歴が広く分布
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。
④道路冠水対策重点箇所
→通行による2次被害の防止

【小手指地区】
④内内水被害の履歴あり、減災対策（雨水樹浸透化、浸透井）を実施している。
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。
④要配慮者利用施設が存在。
→早く適切な避難情報の提供、避難対応が求められる

【所沢地区】
④最大規模、計画規模の降雨時に浸水するエリアに要配慮者利用施設、高層マンションが立地
→水位に応じた避難活動が求められる
→設備を保護する浸水防止対応が求められる
④・緊急輸送道路が冠水する恐れがある。
→通行による2次被害の防止
④東川沿いで内水被害履歴が点在
→ゲリラ豪雨の対策、内水被害想定に基づく取組を検討
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。

【山口地区】
④内水被害の履歴あり。
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。
→自助、共助による浸水軽減の取組
④山間地で土砂災害特別警戒区域が存在
・土砂災害特別警戒区域が存在
→人命を守る誘導施策が必要

【新所沢地区】【新所沢東地区】
④路冠水対策重点箇所
→通行による2次被害の防止
→通常時の排水機能保持

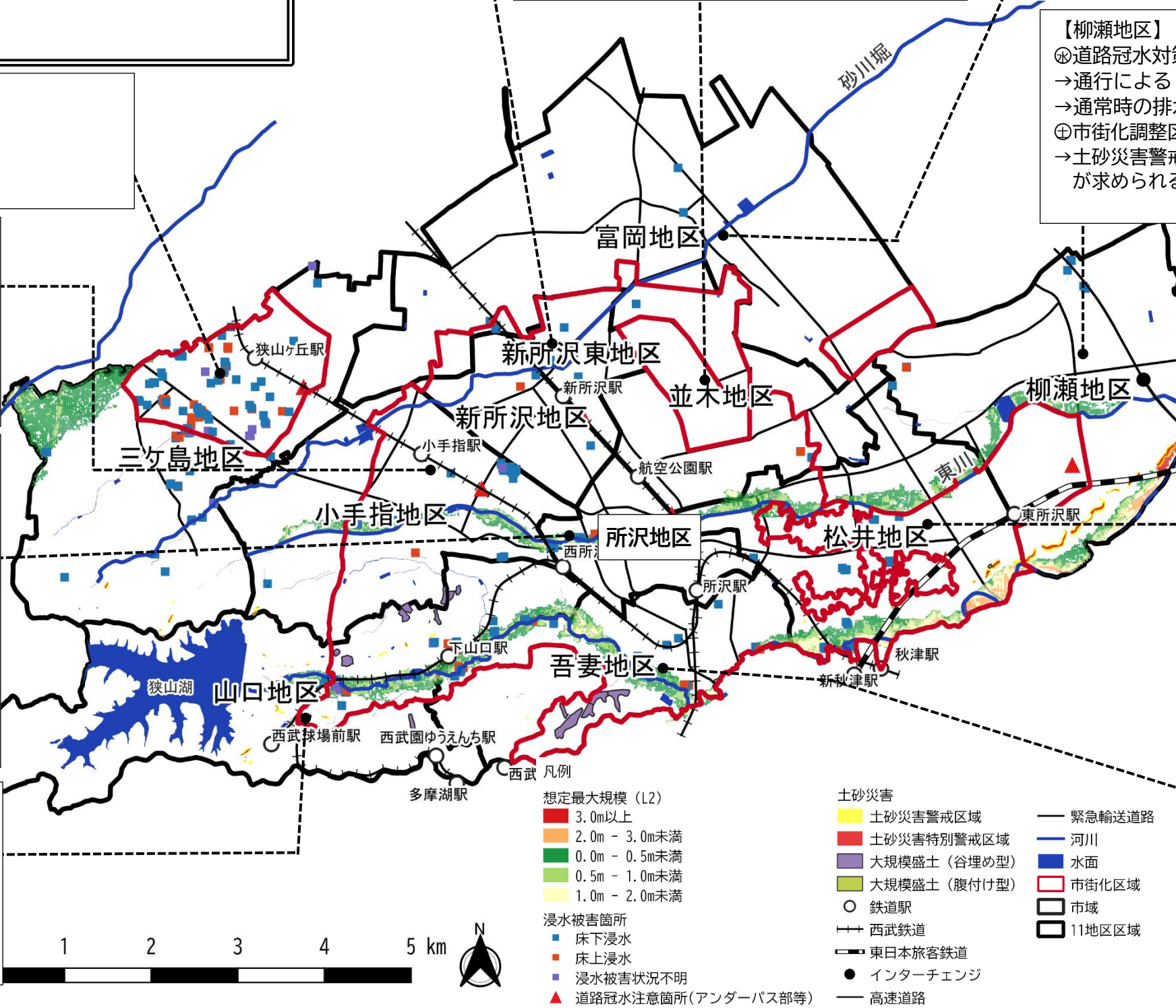
【並木地区】
水害・土砂災害によるリスクは殆どない。
④東川に近い南側にある緊急輸送道路が冠水
→通行による2次被害の防止

【富岡地区】
全域的に市街化調整区域で水害、土砂災害のリスクは低い
④・内水被害の履歴あり、減災対策（雨水樹浸透化・浸透井設置）を実施している。
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。

【柳瀬地区】
④道路冠水対策重点箇所
→通行による2次被害の防止
→通常時の排水機能保持
④市街化調整区域で土砂災害警戒区域等が存在。
→土砂災害警戒情報や大雨警報の情報の発信、命を守る対応が求められる。

【松井地区】
④・最大規模、計画規模の降雨量で浸水が予想される。
→水位に応じた避難活動が求められる。
・内水被害の履歴あり
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。
・最大規模の降雨量では部分的に氾濫流による家屋倒壊が予想される。
→早く適切な避難情報の提供、避難対応が求められる。
④緊急輸送道路が冠水する恐れがある。
→通行による2次被害の防止。

【吾妻地区】
④最大規模、計画規模の降雨量で浸水が予想される。
→水位に応じた避難活動が求められる。
④内水被害の履歴あり
→資産を保護する自助公助の対応が求められる。



■課題のまとめ（火災）

【共通課題】

- ㊤ 5つの改善すべき住宅密集市街地では、主に木造の戸建住宅により街が形成されており延焼リスクが高い。
- ㊤ 小規模の開発事業による形成された地区では、入り組んだ道路や行き止まりの私道が目立つ。
- ㊤ 一時避難場所となる公園等の公共のオープンスペースが少ない。
 - ㊤㊤避難方法の把握（避難場所、避難経路、避難困難者の存在）
 - ㊤㊤不燃領域率の低減（防火機能向上）
 - ㊤㊤近所の避難スペースの共有・確保

【狭山ヶ丘地区】

- ㊤ 消防活動困難区域はごく一部だが、木造住宅が行き止まり私道に接道した立地形態が多くみられる。また、大規模な延焼クラスターの恐れがある。
- ㊤ 近隣市も同様な市街地が形成されており、火災リスクが高いエリアであり、住宅立地が密集している
 - ㊤㊤避難方法の把握（避難場所、避難経路、避難困難者の存在）
 - ㊤㊤不燃領域率の低減（防火機能向上）
 - ㊤㊤近所の避難スペースの共有・確保
 - 隣接市と連携した取組

【小手指台地区】

- ㊤ 消防活動困難区域はない。延焼クラスターの恐れがある。
- ㊤ 南に六ツ家川があり避難経路が制限される区画がある。
 - 不燃領域率の低減（防火機能向上）
 - 避難方法の把握

【西所沢地区】

- ㊤ 消防活動困難区域が広がり、延焼クラスターの恐れがある。
- ㊤ 敷地が細分化されており、土地利用は戸建て住宅が多い。
 - 不燃領域率の低減（防火機能向上）
 - 避難方法の把握

【榎町地区】

- ㊤ 消防活動困難区域はなく、延焼クラスターの恐れがある。
 - 不燃領域率の低減（防火機能向上）
 - 避難方法の把握

【中新井地区】

- ㊤ 消防活動困難区域はない。延焼クラスターの恐れがある。
- ㊤ 大規模開発による街区で比較的、道路、公園が整備されている。
 - 不燃領域率の低減（防火機能向上）

